

自主学習グループOMLIN学び隊

自主学習グループ OMLIN学び隊とは…



大阪近郊の図書館関係者による自主学習グループです

大阪市立図書館職員を中心として、大阪府内の図書館に勤める職員や図書館に関わる地域の方も一緒に、これからの図書館について勉強しています。

興味のある方は大阪以外の方でも！

これまでに5回の勉強会を開催！

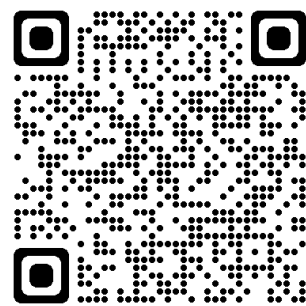
毎回テーマに合わせた講師のお話を伺った後に、参加者同士でも、そのテーマについて話し合っています。

- 第1回 2019年12月「図書館のお金のコト、本気で考えてみませんか？」講師：岡本真さん
- 第2回 2020年2月「図書館と民主主義-公共とは？」講師：嶋田学さん
- 第3回 2020年11月「誰のための学校図書館か」講師：宮澤優子さん
- 第4回 2021年11月「レファレンスの未来を語る～RIGPの実践から見えてきたもの～」講師：下吹越かおるさん、桂まに子さん モデレーター：中尾将志さん
- 第5回 2022年11月「レファレンスの未来を語る Part2」講師：宮川陽子さん、日下九八さん

2022年ポスターセッション「ブレインテック賞」を受賞！

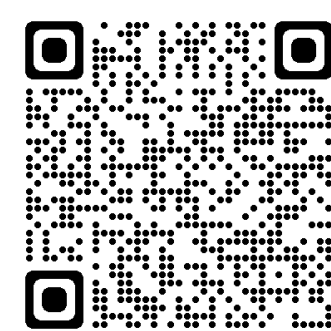
「図書館総合展_ONLINE」ポスターセッションにて、ブレインテック賞をいただきました。授賞式の様子、インタビューはブレインテックさんのページで紹介いただいています。

[スタッフブログ]大阪市立中央図書館でブレインテック賞授賞式！



[トカツ]自主学習グループOMLIN学び隊 (チームオンライン)

今年のイベントは、作戦会議中！ えうご期待!!



画像：大阪市立図書館デジタルアーカイブ 引札『万綿類仕入所』より

さらなる！レファレンスカー アップに向けた 取り組み

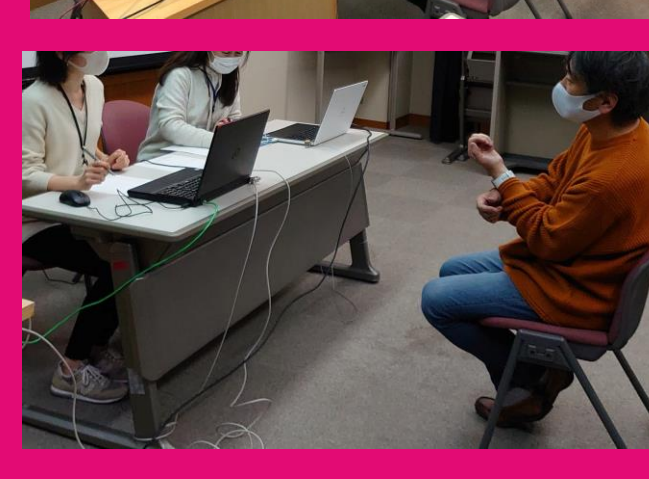
RIGP(オールワングランプリ) 図書館ラボプロジェクト

(Code for OSAKA×大阪市立図書館)

大阪市立図書館有志と Code for OSAKA とで実践している取り組みです。2020年9月から6回実施し、事例の紹介も行っています。



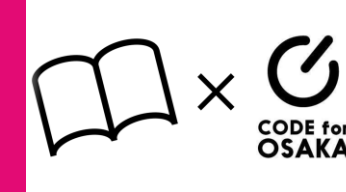
相談者を立て、実際にヒアリングを実施しながらレファレンスを実施します。観覧者は、レファレンスの様子を観察しながら付箋に気付きを記入していきます。レファレンス終了後、観覧者の気付きをフィードバックしていきます。



第7回は「レファレンス vs ChatGPT」

ChatGPTで良質なパフォーマンスを発揮するための質問や指示を出すことができれば、司書のレファレンスの幅はもっと広がるはず！

次回第8回は、ChatGPTを部下にしてレファレンスをやってみます！



RIGPがめざしていること

RIGPは相談者に寄り添うスキルを磨くため、正しい情報よりも相談者と一緒に探るテーマを設定します。

RIGPでの可視化できること

●ヒアリングや報告のプロセスで、どう相談者の気持ちが変わるかを表現し、どうやりとりが相談者の寄り添っているかを可視化しています。

●レファレンスの観覧者の気づきによるレファレンススキルを可視化しています。

猫はなぜかわいいの？

自分のレファレンスを客観視される経験そのものが司書の楽しさにつながっています。

お試し★レファレンスバトル (東京都立中央図書館有志×大阪市立図書館自主学習会)

レファレンスのあるあるやお困りごとを雑談していた東京都立中央図書館のMさんと大阪市立中央図書館のTさんのつぶやきから実施することになりました。オンライン会議システムでつなぎ、これまでに2回開催しました。第1回は、百科事典を熟知した一般の方による共通の事前課題と当日課題、第2回は、これまでに受けたことのある郷土資料関係のレファレンスからそれぞれに事前課題として出題し、当日には共通の課題を実施しました。第2回では、最後に情報交換の時間も持ちました。

お試し事例レファ協に
登録してみました

参加者の感想

- 同じ質問でも回答の仕方やプロセスが違うところが勉強になった。
- 他の地域の郷土資料を使ったレファレンスは土地勘がない分、ハードルが高いが、他府県のデジタルアーカイブを見る機会があって興味深かった。
- 交流の時間が持てて、レファレンス記録や選書の違いについて情報交換ができたことが良かった。

大阪市立図書館デジタルアーカイブ つくる！たのしむ！オープンデータ

2017年3月に大阪市立図書館デジタルアーカイブの一部画像をオープンデータとして提供開始してから、あれこれ模索・工夫しながら利活用の取り組みを続けています。2023年度の取り組みを紹介します

「オープンデータで推しと出会う」展 2023年9月8日～11月15日

図書展示「推し活・オタ活応援！」展とともに、「オープンデータで推しと出会う」展を開催！！オープンデータ画像を使用してティーンズコーナー担当職員が推し活グッズを作成しました！

オープンデータで推しと出かける
Open Date de De ka ke ru

2021年に実施したもふもふ選手権の「推しもふ」も多数登場♪

オープンデータで推しに出向く
Open Date de Oshi ni De mu ku

令和5年度としょかんポイント記念品 めりえ・ブックカバーに活用！

大阪市と包括連携協力している一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会を通じて、としょかんポイントクイズの記念品（ブックカバーとめりえ）のデザインを公募。専門学校 HAL大阪にエントリーいただき、オープンデータ画像を活用して学生さんにデザインしていただきました！

なんと全49種類！

めりえは14種類♪

中央図書館 エントランスでPR中！

大阪市立図書館デジタルアーカイブ の取り組み

大阪市立図書館では、大阪市立中央図書館所蔵の近世の大阪関係資料や明治・大正期の絵はがき・写真・引札、地図などの資料をデジタル化してデジタルアーカイブで公開しています。1996年7月の中央図書館リニューアル時に開始し、2023年10月現在約29,500点の資料を公開しています。



大阪市立図書館デジタルアーカイブのあゆみ

- 1996年 7月 「大阪市立図書館イメージ情報データベース」公開 (館内専用端末)
- 2001年 5月 インターネット公開
- 2014年 1月 「大阪市立図書館デジタルアーカイブ」としてリニューアル
- 2017年 3月 一部画像をオープンデータとして提供開始 (提供条件 CC-BY)
- 2019年10月 オープンデータの提供条件の変更 (CC0)
- 2020年 1月 リニューアル (ダウンロードボタン表示・画像専用ビューワなど)
- 2021年 3月 国立国会図書館サーチとの連携開始
- 2021年 7月 ジャパンサーチとの連携開始

一部画像のオープンデータ化

大阪市立図書館では「大阪市オープンデータの取り組みに関する指針」や「大阪市ICT戦略」に基づき、活力と魅力ある大阪の実現に資することを目的に、デジタルアーカイブの著作権が消滅したデジタル画像情報(重要文化財「間重富・間家関係文書」含む)等のオープンデータ化を進め、約7,900点のコンテンツをCC0 (CC0 1.0 全世界パブリックドメイン提供)で提供しています。

日下コレクション -令和4年度新規搭載コンテンツ-

「日下コレクション」とは、平成12年に、日下氏(ワラチャ出版株式会社代表取締役)より大阪市西区役所に寄贈された、大阪市西区の川や橋、公共施設・名所・旧跡等の写真資料で、『埋もれた西区の川と橋』(伊勢戸 佐一郎/著 大阪中部ライオンズクラブ 1990)に掲載されている写真も含まれています。このたび、広く一般の利用に供するため、西区役所より大阪市立中央図書館に寄贈・提供され、令和5年3月に大阪市立図書館デジタルアーカイブにて公開しました(495点)。

明治から昭和にかけて西区における日々の様子がわかる写真が多数あります

川口教会 安治川の渡し船 金屋回収 西長堤橋

『埋もれた西区の川と橋』収録写真のメタデータには、画像解説もあります

Webギャラリー「おさかの人々が見た風景(日下コレクションより)」公開中!